

総合物流サービスのミス・バラエティー(富士市)が、サプリメント販売に本格的に乗り出した。調剤薬局と組んで、顧客一人ひとりに最適なサプリメントを店頭で提案。薬局が地域の健康相談窓口の役割を担う「健康サポート薬局」になることも支援する。同社の物流ノウハウと組み合わせ、新たな健康ビジネスとして拡大を目指す。

「お客様の状態ですと、こちらのサプリがおおすすめです」。ヤマザキファーマシーズ(愛知県豊橋市)の浜松市の調剤薬局で18日から、顧客に適し

総合物流のミス・バラエティー

最適なサプリ
調剤薬局で提案

たオーダーメイドのサプリを提案する「デザインサプリ」の販売が始まった。

まず顧客は所定の健康チェックシートに健康状態を記入する。サプリ事

顧客の健康状態をチェックし、多くの種類から選ぶ(浜松市のヤマザキ薬局)

薬剤師と相談し販売

健康サポート薬局 品のほか、大衆薬や介護用品を取り扱う」といって、地域住民の健康増進を支援する機能を持つ薬局で、2016年10月から届け出が始まった。「5年の実務経験がある薬剤師が常駐」「医療用医薬品のほか、大衆薬や介護用品を取り扱う」といって、地域住民の健康増進を支援する機能を持つ薬局で、2016年10月から届け出が始まった。「5年の実務経験がある薬剤師が常駐」「医療用医薬品のほか、大衆薬や介護用品を取り扱う」といって、地域住民の健康増進を支援する機能を持つ薬局で、2016年10月から届け出が始まった。

業の新社、デザインサプリ(東京・品川)が開発したアルゴリズム(計算手法)が回答を診断し、多くの種類の中から顧客に適したサプリを提案。顧客は薬剤師と相談しながら購入するサプリを選ぶ。

デザインサプリ社は2017年3月に設立。資本金7200万円のうち、本社が5000万円を出資した。3年ほど前から計画したが、「運用方法などがうまくいかず、一から見直した」(ミズ社の栗田佳幸社長)。

デザインサプリは、山崎卓司代表は「調剤薬局で取り扱っているのは病院の処方箋が大半だが、今は身近な街の健康相談所としてアピールしなげれば収益を上げにくい」と話す。

デザインサプリは、後、インターネット上でもサプリを提案する仕組みを整え、通販事業としても展開する。栗田社長は「あくまで薬局での提案が事業の柱。薬剤師と顧客がコミュニケーションしながら、サプリを購入してほしい」と話している。

(安芸悟)

新聞

静岡支局 054-263-7191
浜松支局 053-452-8593